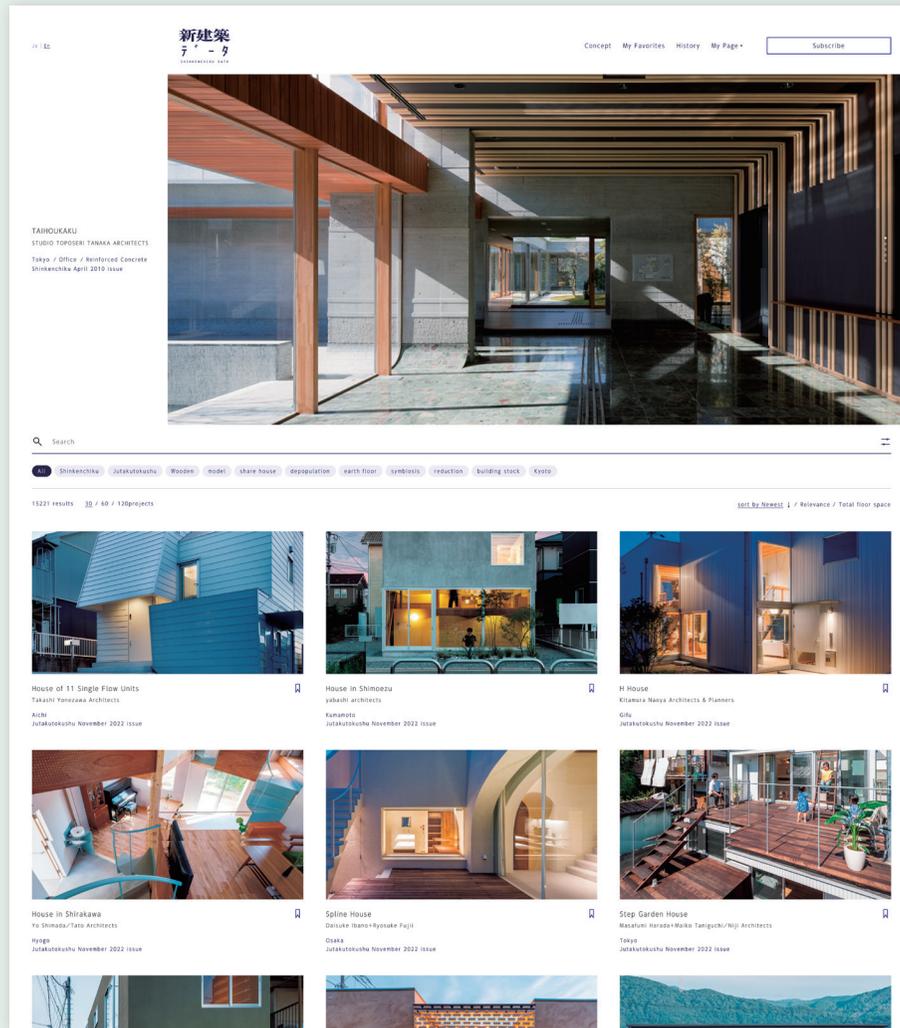


新建築データとは

建築プロジェクトのデジタル・アーカイブ



新建築 DATA は

「新建築」「住宅特集」「a+u」

に掲載された建築プロジェクトを

検索・閲覧できる

web サービスです

新建築データとは

新建築
DATA

ご利用いただける雑誌

a+u



1971年1月創刊。世界の建築情報を日本および世界に提供する、和英バイリンガルの建築雑誌。創刊以来、海外の建築情報を伝える日本唯一の月刊誌として、広く建築界に親しまれています。

新建築



1925年8月創刊。日本を代表する建築専門誌。写真、図面などをもちいた一貫した編集方針の継続により、独自の視点をつくり出し、建築思潮や建築デザイン界の新しい動きを発信し続けています。

新建築住宅特集



1985年5月季刊誌として創刊。創刊以来の住宅設計者、建築設計者向けの専門書という側面を貫きながら、読者の方々の幅広い興味に応えられる誌面を目指しています。

新建築データとは

現在、計 18,500 件以上の掲載プロジェクト

※ 2022 年 2 月現在



雑誌 1,068 冊分の
情報があなたの
PC、タブレット、スマホで
自由に
検索・閲覧できます。

18,500+
Projects
Now online



新建築

8,500+
Projects

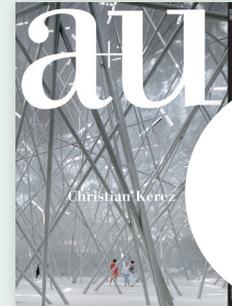
1985 - 最新刊
456 冊分
がご利用いただけます。



新建築住宅特集

7,000+
Projects

1985- 最新刊
(創刊号)
456 冊分
がご利用いただけます。



a+u

3,000+
Projects

2010 - 最新刊
156 冊分
がご利用いただけます。

新建築データとは

新建築
DATA

100年前から常に最新のデータまで

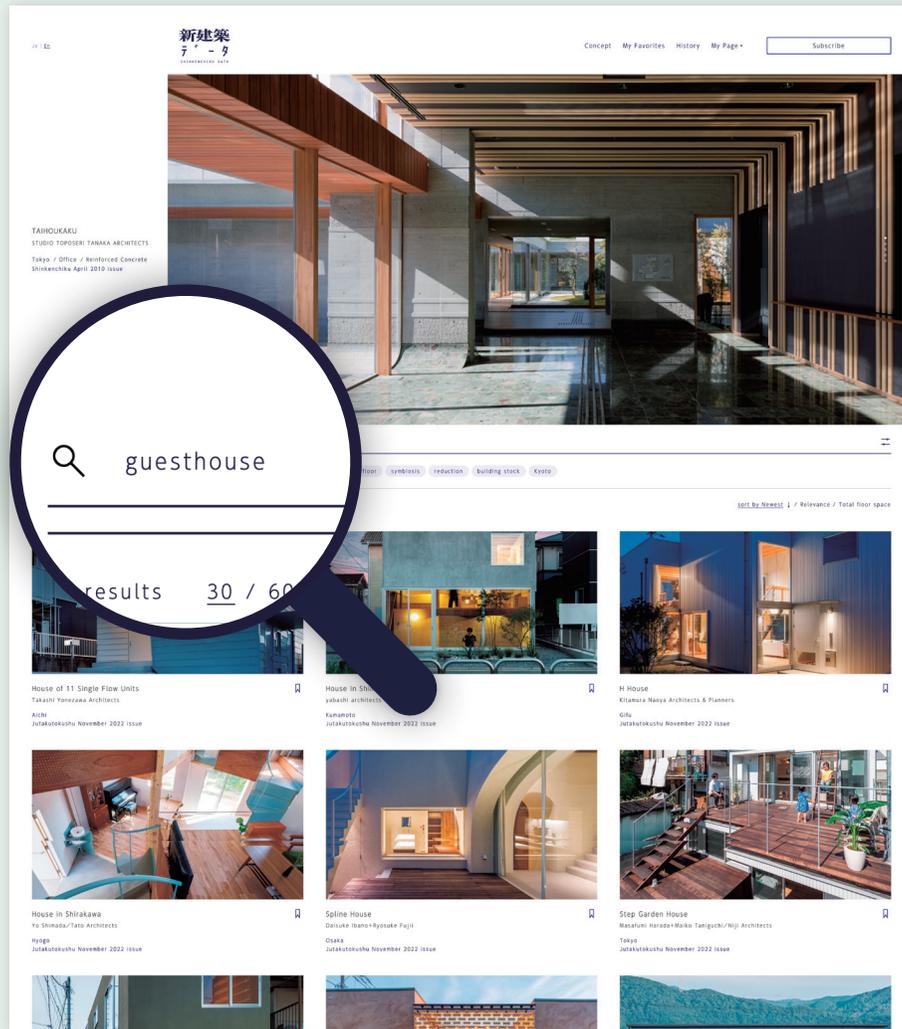


今後も
さかのぼってデータ
が公開されていきます。

雑誌発売から
1ヶ月後に最新のデータ
が公開されます。

新建築データとは

検索



検索キーワードを入力すると、
瞬時に、ヒットする
建築プロジェクトの一覧
を表示することができます。

検索は、
プロジェクトタイトル・建築家
名・説明文やデータシートなど
のプロジェクトに関連するテキストデータを参照して
います。

新建築データとは

新建築
DATA

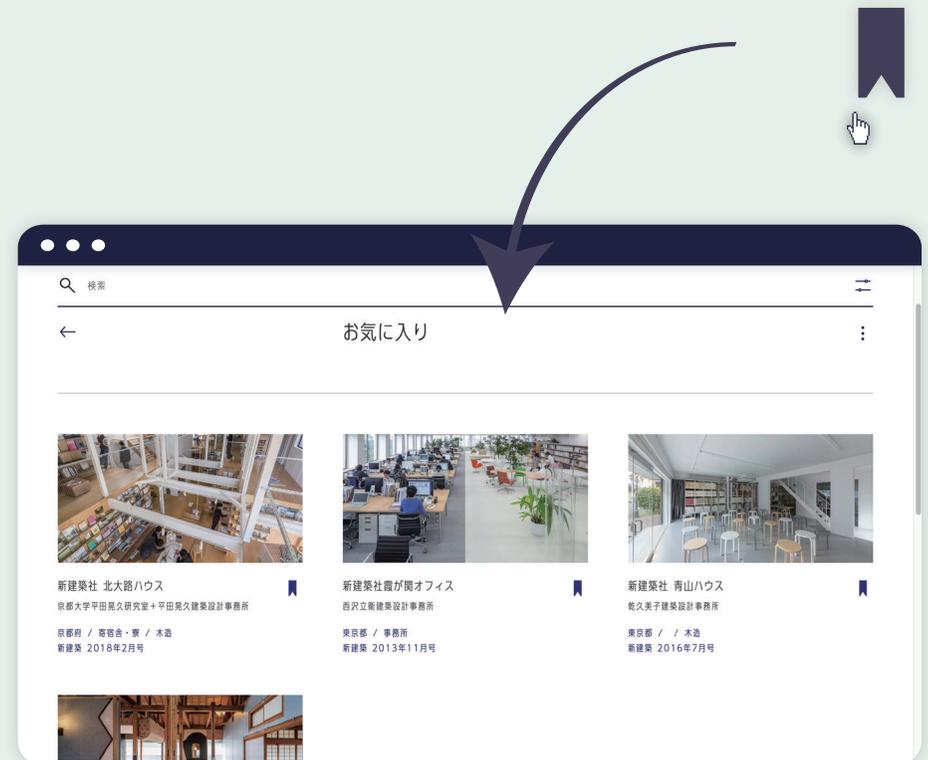
誌面閲覧・保存・共有



雑誌誌面をそのまま、
拡大縮小しながら
閲覧できます。

建築プロジェクトは

お気に入りに保存
して共有できます。



新建築データとは

新建築
DATA

掲載内容



Photo

環境と連続する建築

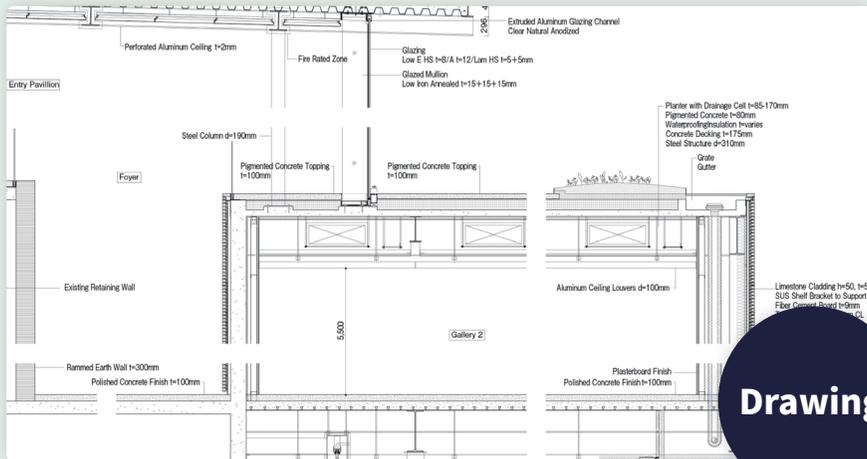
妹島和世+西沢立衛 (建築家)

建築が時間と共に育てられ広がっていく、あるいは、建築がその建つ場所を広げて豊かにしていく。約20年前につくった金沢21世紀美術館(体積0411)に竣工後も関わりながら、それを教えられた。美術館は少しずつ街に繋がっていった。ある時、街のギャラリーのオーナーが自分のギャラリーは金沢21世紀美術館の展示室がひとつ街に飛んできたものと考えられるという発見を見てくれた。金沢21世紀美術館の平面はそういう視点を生み出し、その視点は建築と街との新しいネットワークをつくった。その平面形式は、街と関係をつくれるものであったと思う。しかし同時に、建築がもつ物理的に街に連続できるはずだとも思った。金沢のガラスのファサードは独立性が強い。それではどうやって建築を周りの環境とより具体的な関係を持つものにできるのだろうか考えるようになった。建築は基本的に動かないものだが、

の過半に残存する土地であった。つまり敷地内に、高速道路の上をぶさくランドブリッジと呼ばれる人工地盤、ウルムル湾沿いに遺された第二次世界大戦時の給油用オイル貯蔵タンク、また急傾斜を造成した土圧壁等があり、いわゆる自然の土地は小さかった。そういう複数の土木構築物の上に建築をつくるということは、新しく建てるというよりは、いわゆる既存のビルにもうひと部屋付け加えるような、そんなイメージすら感じる状況であった。敷地に残存するこれらの土木構築物群(ランドブリッジやオイルタンク、土圧壁など)は、すべてシドニーの近代化の過程でつくられてきたものであり、ある意味でシドニーの近代化を象徴する歴史的・文化的地盤とも言える。その上に建てるということはそのまま、シドニーあるいはこの地域一帯の時間に繋がっていく建て方なのではないかと考えた。そこで、それらを最大限そのままの姿で残し、ここを訪れる人びとが最大限経験できるように、人びとと地形との対話ができる場所をつくりたいと考えた。いろいろな建て方が可能な中で、私たちはそれらの土木構築物を選んで1か所に小さく高く建物を集中的に建てるというやり方でなく、複

の高低差を感じつつ、また丘や公園、海という景色を感じつつ、美術館を巡る。3つのギャラリーの箱と箱の間は、動線空間でもあり、休憩できるホワイエでもあり、地形を感じる空間でもあり、たまにアート展示にも使われる自由な場所、そこを屋根によってつくることで、開放的な空間としている。いちばん目のギャラリーとエントリーレベル間は前面道路に正対し、1段下のレベルにある2番目のギャラリーは海を見る方向に向き、そして3つ目のギャラリーは湾沿いの道路と並行な配置となっており、各ギャラリーの箱は各々違う向きとなり、さまざまな方向の箱の間に、不定形なスペースが生まれる。このアメー(U)状の空間は3つのギャラリーと配置と4つの屋根により、地形の段差を跨いでひと繋がりな連続空間となっている。また、不定形な空間にしようと考え、ギャラリーの屋根は土圧壁を土仕上げとし、床のコンクリートとした。アメー(U)状の空間の屋根上は土仕上げとなっており、ギャラリーの箱

Essay



Drawing

外部仕上げ

ボックス部分

屋根	断熱スタイロフォーム 防水 トッピングコンクリート 屋上緑化
外壁	石灰岩 ステンレスクリップ止め 49×50×最長1,400mm
開口部	Low-E HS t=8mm+A=12mm+HS Lam t=11.52mm
ホワイエ部分	
屋根	断熱スタイロフォーム 防水コンクリート 屋上緑化 ソーラーパネル
外壁	Low-E HS t=8mm+A=12mm+HS Lam t=11.52mm
外構	顔料入りコンクリート刷毛引き仕上げ 植栽 (オーストラリア天然植物)
プラザ	
屋根	合わせガラス曲げ加工 t=10+10mm
外構	顔料入りコンクリート刷毛引き仕上げ 植栽 (オーストラリア天然植物)

Data

新建築データとは

こんな使われ方をしています



プロジェクトチーム内で
参照やアイデアソースの
共有フォルダを作成する。



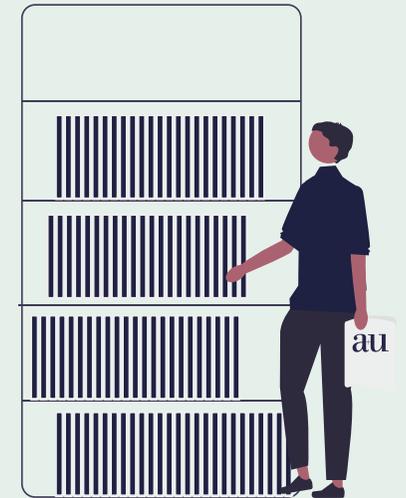
教員が授業の**設計テーマ**に
関連した**フォルダ**を作成する

新建築データとは

実務の場では、こんな使われ方をしています



気になる建材を
検索して、プロジェクトから建材の使
用事例を参照する。



図書館で
実物の雑誌を探すときの、
検索ツールとして使う

新建築データとは

新建築
DATA